

開催された。「とりもどそう あたたかい故郷を一地域との協働で拓く医療の未来」をメインテーマに12のシンポジウムと多数の講演が行われ、一般演題995題（口演650題、ポスターセッション345題）のほか、クリティカルパス展示で28題が発表された。参加者は3,348名であった。来年は岡山県岡山市で開催予定である。

5. 日医理事会報告（長瀬会長）

医賠償保険制度における「指導・改善委員会」設置の件等につき協議があった。また、事前の理事打合せにおいて、現物給付型民間保険について等の意見交換を行った。

6. 外部各委員会報告

(1) 北海道介護保険審査会（全体会議）[6月13日(木)]について（林常任理事）

会長に小職、副会長に北海道老人福祉施設協議会・杉野勝美副会長が選出され、各委員が所属する合議体について説明があり、その後、行政より介護保険制度の施行状況について報告があった。

(2) 道北ドクターヘリ運航調整委員会[6月13日(木)]について（目黒常任理事）

平成24年度運航実績、宗谷管内における現況、災害時の対応に関する運航要領の改訂について報告があり、その後、道立羽幌病院と整備が予定されている名寄市立総合病院広域紋別病院のヘリポートに関して説明があった。

(3) 北海道発達支援推進協議会第6回道立医療型障害児入所施設機能検討部会[6月19日(水)]について（三戸常任理事）

平成24年度から通算5回開催された本部会の検討経過の報告があり、その後道立医療型障害

児入所施設機能検討部会報告書（案）について協議した。今後、本部会での意見をもとに内容を整理し、北海道発達支援推進協議会に報告の上成案として、年度内に関係機関に配付する予定である。

(4) 道央ドクターヘリ運航調整委員会[6月20日(木)]について（目黒常任理事）

委員長に小職、副委員長に成松委員（札幌医大教授）が選出され、その後、平成24年度運航実績について報告があった。また、事務局より運航要領のキーワード方式、出勤時間の変更、災害派遣の項目について一部改正案が提案され、承認した。

(5) 第7回北海道地域連携クリティカルパス運営協議会[6月21日(金)]について（橋本常任理事）

脳卒中関連事項では、北海道における脳卒中あんしん連携ノートの運用状況、地域連携追跡システム（データベース）分析について報告があった。今後はノート活用に向けた支援、データの開示と利用促進、患者に提供する医療の質の向上が課題である。また、急性心筋梗塞関連では、パス試行を7月13日の医療機関説明会から開始し、年度内はモニタリング・データ集積を実施する予定である。

7. その他

(1) クールビズについて（三戸常任理事）

本年度も、北海道医師会館の節電対策の一環として、クールビズを実施する。実施期間は7月1日～9月30日までとし、日本医師会、道内の都市医師会、関係団体にも、クールビズの実施について周知することとする。

北海道医師会サポートセンターのご利用について

◇情報広報部◇

北海道医師会サポートセンターでは、本会提供のメールアドレスに関するご相談だけでなく、パソコン操作やインターネット利用に関する質問対応も承っております。日頃のパソコン利用におけるちょっとした疑問点やトラブル対応の第一相談窓口として、お気軽にご利用ください。

お問い合わせ例

パソコンをMacに変えたら使い方がよくわからない・・・ご利用方法をご案内
プロジェクターでパソコンの映像を映したい・・・ご利用方法をご案内
光電話ってどうしたら使えるの・・・光電話についてご案内、取次ぎも可能
エクセルの使い方がよくわからない・・・一般的な使い方であればご案内可能
サポートに来てほしい・・・駆けつけ業者を手配します(有料となります)

お問い合わせ先：北海道医師会サポートセンター（平日 10:00～12:00、13:00～17:00）

○TEL： 011-738-3401

○E-mail： support@hokkaido.med.or.jp